

NPO 京都コミュニティ放送
第75回番組審議会

開催日時：2013年5月17日（金）14:30～16:15

会場：烏丸ビル 2F Flag 三条

出席委員：市古和弘 ジェフ・バーグラント 丸橋泰子 山本時子

欠席委員：中村正 野池雅人 福井秀彦 津田正夫 井上恭宏

局側委員：隅井孝雄 時岡浩二 町田寿二

ゲスト：「町家ボッサ」制作者 森琢磨 田中志保

（順不動敬称略）

審議番組：「町家ボッサ」 4月29日（祝）15:00-15:09 放送（単発番組）

最初に森琢磨氏より番組の趣旨について説明があった。

町家でボサノバのライブを行う活動を広げながら、ラジオ放送にも取り組みたい。

2013年4月29日の放送番組を試聴し審議に入った。

審議委員からのコメントなど（要約）：

- ・ 番組全体の雰囲気時間が時間帯的にも昼でも良く眠れそうな雰囲気
- ・ 町屋より大きなライブ会場のように聞こえる。
- ・ 内容的にも音楽的にもレベルの高い番組となっている。
- ・ 町屋でのライブの音響について。町屋の雰囲気をうまく生かしている。
- ・ 町屋の構造は色々な音楽に合うのではないか。
- ・ 板張りの部屋がボサノバには合っていると感じる。
- ・ 現代人は良い音楽を聴いていないと思う。
- ・ お客様（観客）は町家の雰囲気と一緒にボサノバライブを味わえるので良いアイデアだ。
- ・ 京都の文化とボサノバは合うのではないか。
- ・ 青山のボサノバフェスティバルに似たものを京都でもやりたい。（制作者）
- ・ このような取り組みは京都の伝統的な行事、地蔵盆とも合うのではないか。
- ・ レベルが高い音楽なので、実際のライブに行ってみたくなった。
- ・ 私の町屋でもやって欲しい。料理を入れて料金も高くとれる。
- ・ 町屋の再生や保存活動なら行政や地域団体と連携できるのではないか。
- ・ リスナーを増やす為の組織を作ったらどうか。
- ・ ライブ会場のお客さんの声を入れてみては。
- ・ ラジオカフェの看板か何かを作って、外国人観光客におみやげに持って帰ってもらったら、海外にも広がる。
- ・ 良い番組なのでこれからも続けて欲しい。

以上で審議を終了した。

6月3日（月）13:15から「番組審議会だより」として放送した。

この審議会の議事録は6月1日から事務所に据置き閲覧できるようにした。